



学校だより

# かけはし ～学校評価 臨時号～

令和7年9月発行

津幡町立井上小学校

7月の保護者アンケートのご協力、ありがとうございました。保護者の皆様同様、子供や職員もアンケートをとり、それらをもとにより良い学校づくりに役立てたいと考えております。また、8月下旬に行われた「学校評議員会」で話し合われたこともあわせてお伝えします。今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもあります。今後とも、本校の教育活動をご理解いただき、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校 訓  
学校教育目標  
目指す児童像

至誠 勤労 規律  
自立する子・「合い」ある子の育成  
◆自分で学ぶ子 ◆他と関わる子

◆健康である子

## 今年度の重点目標 (学校評議員会でも話し合われました)



### I. 学力向上と授業力向上を目指して

#### 《育む力》

- ①主体的に自ら進んで考えようとする態度を養う。
- ②活動を振り返り、自己の学びや学び方について自覚することができる。
- ③児童同士の温かい関わり合いの中で自分の考えや思いを正しく伝える表現力を育成する。
- ④1人1台端末 (chromebook) を含め、様々な手段で調査・表現しようとする力を育む。



#### 《結果と分析》 (「育む力」の番号に対応)

- ①児童アンケートでは、何を解決するか見通しをもって考え、勉強の内容が分かっている児童が共に肯定的意見が9割を超えた。
- ②「自己の学びや学び方について振り返っている」について、児童アンケートでは9割、職員アンケートでは10割が肯定的意見であった。
- ③児童・職員アンケート共に肯定的な回答が9割を超えた。教室において良い関係性を広めることにより、児童は安心して自己表出することができる環境にいると思われる。
- ④1人1台端末を活用した学習形態に慣れ、効果的に活用している児童も多数見られるようになった。また、高学年では端末にこだわることなく、目的に応じて書籍や新聞、図画等自分に合った最適な手段で調査・表現しようと選択する姿も増えてきている。

#### 《今後の取組》 (「結果と分析」の番号に対応)

- ①授業では興味関心が持てる導入のあり方、見通しをもって児童が学習を進めることができる工夫、学びが実感できる終末に力点を置き、肯定的ではない児童を見据え取り組んでいく。
- ②児童が、自己の学びや学び方について意識できるようになってきているが、教員は、多様な学び方を生かして進める授業の工夫がより大事になる。そこで積極的に授業を見合う機会を設け取り組む。
- ③継続して取り組んでいくが、アンテナを高くして友達関係を見守っていく。
- ④児童が調査・表現しようとする際の選択肢を増やしつつ、どのような時にどんな手段が有効だったかを振り返る機会を大事にしていく。

### II. 人間性の向上と社会性の育成を目指して

#### 《育む力》

- ①きまりやマナーを守ることの意義やよさについて気付くとともに、「考え・行動する力」を培う。
- ②いじめの未然防止を念頭に、児童同士のよりよい人間関係作りをめざし、自他を大切にする態度を養う。

#### 《結果と分析》 (「育む力」の番号に対応)

- ①児童・職員・保護者アンケートでは、何れも肯定的評価が9割を超えた。ただし肯定的回答の内訳をみると「しっかりできたA評価」「どちらかと言えばできた (B評価)」は児童約7割 (約3割)・職員8割 (2割)・保護者約4割 (約5割) と差があった。
- ②上記の①と同じような傾向があり、児童約6割 (約3割)・職員約6割 (3割)・保護者約3割 (約6割) と差があった。

#### 《今後の取組》 (「結果と分析」の番号に対応)

- ①きまりやマナーを守れているか振り返る場を大事にし、学校だけでなく地域の一員であるという意識をもつことができるよう話をしていく。また、家庭や地域との連携を一層密にし把握に努める。
- ②良い関わり合いの姿を認め、広げる。機会をとらえて、互いを尊重する関わり合いについて考えさせる。



### III. 健康・安全教育の充実、家庭地域との連携を目指して

#### 《育む力》

- ①健康に留意し、自他の安全を守ろうとする態度を養う。
- ②たよりやホームページ等、家庭への情報提供をより充実させることにより会話のきっかけをつくり、学校と保護者の連携を深める。

#### 《結果と分析》 (「育む力」の番号に対応)

- ①健康5チェックや熱中症予防対策、歯磨きなどの取組や避難訓練等に対する評価は、何れも9割を超える良い結果となった。「自分の命や健康は自分で守る」という合言葉のもと、主体的に取り組み、児童・教師ともに意識の高さが伺える。
- ②ホームページの更新回数が昨年度よりやや少なかったため、保護者・職員アンケート共に十分に満足できる結果とはいかなかった。

#### 《今後の取組》 (「結果と分析」の番号に対応)

- ①今後も児童自らが主体性をもって取り組み、健康と安全について自分で判断できるように事前指導を大事にする。本校の弱点である柔軟性と走力に重点を当て、体力アップにも励む。
- ②行事だけでなく、何気ない日々の様子をホームページに載せることを計画的に進める。

